共通テスト英語リスニング

大問1〜6 解法シート

大問ごとの形式・配点・先読みの秒数と、解く手順。聞く前に「何を聞くか」を決める。

6大問
100点
解答30分

1A 16点	1B 12点	第2問 12点	第3問 18点	4A 8点	4B	第5問 16点	6A 6点	6B 8点

帯の幅は配点。**音声が2回流れる第1・2問で40点、1回だけの第3〜6問で60点。**全大問に共通の力は「先読み・言い換え・最後まで聞く」の3つ。

1A 第1問A：短い発話 → 合う英文

4問×4点＝16点｜音声**2回**｜先読み**約25秒**｜発話は10〜20語｜解答時間 約5秒＋約7秒

1. 選択肢の**違う部分**（動詞・時・否定）に線
2. 「結局どうなったか」を日本語で一言に
3. 聞こえた単語が多い選択肢を疑う（**正解は言い換え**）
4. 2回目は確認だけ。目は次の問題の選択肢へ

注意する語　I was going to ..., but（しなかった）／I should have ...（後悔）／Would you mind ...?（依頼）／not ... until 〜

1B 第1問B：短い発話 → 合う絵

4問×3点＝12点｜音声**2回**｜先読み**約18秒**｜発話は8〜15語｜見るのは絵4枚の違い

1. 絵の**違いを2つ**言葉にする（数と状態など）
2. 違いを表す英語を予想（on / under / next to）
3. 時の語：is about to / has just / is 〜ing
4. 否定と程度：not / almost / only / neither

注意する語　almost all／few（ほとんどない）／hasn't 〜 yet／not as long as／had his hair cut（切ってもらった）

2 第2問：短い対話と問い → 絵

3問×4点＝12点｜音声**2回**｜先読み**約24秒**｜対話は4発話・25〜40語｜解答時間 約4秒＋約5秒

1. 場面（日本語）を読む。何を選ぶ話かが分かる
2. 絵の違いを見て、条件を予想。一言メモ
3. 条件が出るたびに、合わない絵に直接×
4. **No / but / Actually** の後ろ。最後の発言が決め手

注意　最初に出た案は、ほとんどの場合、正解にならない。問いは最後に流れるが、待たずに絵を消していく。

3 第3問：対話 → 問いの答え

6問×3点＝18点｜音声**1回**｜先読み**約30秒**（6問分）｜対話は4〜7発話・40〜55語｜解答時間 1問約9秒

1. 指示文の30秒で、6問分の場面と問いを読む
2. 問いの主語（the man / the woman）に丸
3. **最後の発言まで**聞いてから選ぶ
4. 3秒でマーク、残りの6秒で次の問い

注意する語　Actually / On second thought / I guess の後ろに結論。I'd love to, but ...（断り）

自己チェック：大問ごとに、聞く前にすること

- [ ] 1A：選択肢の違う部分に線を引く
- [ ] 1B：絵の違いを2つ、言葉にする
- [ ] 2：場面を読み、絵に×をつける準備
- [ ] 3：6問分の場面と問い。主語に丸
- [ ] 4A：指示文の間に絵を見始める
- [ ] 4B：条件を3つ、短い言葉にする
- [ ] 5：90秒を4つに分けて読む
- [ ] 6：人名に丸。名前を縦に書く

4 第4問A（8問・8点）・B（1問・4点）：聞きながら書く。音声1回

A前半：絵の並べ替え（4点）	A後半：表の完成（各1点）	B：4人の話と3つの条件（4点）
① 指示文の間に絵を見始め、一言ずつメモ	① 表の見出しと単位、空所の位置を読む	① 条件を3つ、短い言葉に。以下・以内に下線
② 聞こえた順に、絵に 1・2・3・4	② 選択肢の数字から、計算を予想する	② 1人聞くごとに、表に ○・×・空欄
③ **before / after / had＋過去分詞** で順番を入れ替える	③ 基本の値を、表の横にすぐ書く	③ ×が1つ付いたら、その候補は捨てる
④ **4つ全部合って得点**。そろってからマーク	④ **However / If / except / more than** の後ろの条件を当てはめる	④ 触れなかった条件は○にしない。**○が3つ**で正解

先読み／解答時間：A前半 約37秒（無音は約12秒）／約21秒　A後半 約27秒／約24秒　B 約31秒／約9秒

5 第5問：講義 → ワークシート・内容一致・グラフ

7問・16点｜音声**1回**｜講義は約250〜300語＋続き｜先読み**約90秒**（無音は約63秒）｜解答時間 約51秒・約8秒・約31秒

0〜15秒
状況と講義の題
▶
15〜45秒
ワークシートの見出しと空所の前後
▶
45〜70秒
問いの選択肢の違う部分
▶
70〜90秒
グラフの題・軸・単位

- 講義はワークシートの上から下へ進む。**空所の横にメモ**し、今どこかを指で追う
- 数字は計算が要るかを考える（年に6,000円 → 月に○円なら割り算）
- **In contrast / On the other hand / while** で次のまとまりへ。グラフの問いは講義とグラフの両方に合うもの

6A 第6問A：2人の対話 → 考え

2問×3点＝6点｜音声**1回**｜先読み**約42秒**｜対話は約130〜160語｜解答時間 約21秒

1. 問いの人名に丸。余白に2人の名前を書く
2. 人ごとに ＋（賛成）・−（反対）と理由を一言
3. **I see your point, but ...** の後ろが本当の考え
4. always / never / all / only の言い過ぎを消す

6B 第6問B：4人の会話 → 立場・図表

2問×4点＝8点｜音声**1回**｜先読み**約32秒**｜会話は約170〜200語｜解答時間 約46秒

1. 4人の名前を縦に書き、横に ○・× の場所を作る
2. 発言のたびに ○・×。**変わったら上書き**
3. 声と名前を結びつける（初めに名前を呼び合う）
4. 図表は、その人の**理由**（お金・時間・健康）で選ぶ

ここから先：大問ごとに詳しく（注意する語・短い例・よくある失敗）

例の英文は、まず**声に出して読み**、答えを決めてから説明を読む。絵で答える問題は、絵の内容を言葉で示してある。どの大問でも、失点の原因は「聞く前に何を聞くかを決めていない」「最後まで聞かずに決める」「聞こえた単語で選ぶ」の3つに集まる。

1A 第1問A：狙われる表現（聞こえる表現 → 選択肢での言い方）

聞こえる表現	実際の意味	選択肢での言い方
I was going to ..., but ～	するつもりだったが、しなかった	did not ... / could not ...
If I had ..., I would have ～	実際はしなかった（仮定法）	did not ...
Could you ...? / Would you mind ...?	頼んでいる	is asking someone to ...
Thanks, but ... / I'd love to, but ...	断っている	is turning down ... / cannot ...
～ instead / rather than ～	別のものにした	A, not B
I should have ...	しなかったことを後悔している	regrets not ...ing
not ... until ～	～になって初めて…する	will ... after ～

第1問A：短い例

① I should have brought a jacket. It's much colder than I expected.

ⓐ The speaker is wearing a jacket.　ⓑ The speaker has no jacket with him.　ⓒ The speaker expected cold weather.

答え ⓑ　should have ＝持って来なかった。jacket が入っているだけの ⓐ を選ばない。

② The game won't start until the rain stops.

ⓐ The game was stopped by the rain.　ⓑ The game will begin after the rain ends.　ⓒ The game will be played in the rain.

答え ⓑ　not ... until ～ ＝ ～の後で…する。start → begin、stops → ends の言い換え。

第1問A：よくある失敗

- **but の前で決める。** I was going to ... が聞こえたら、「しなかった」と先に予想する
- **聞こえた単語で選ぶ。** 正解は言い換え。lend と borrow、bring と take のように向きが逆の語にも注意
- **時を取り違える。** will（これから）／did（もうした）／have just（今したところ）を選択肢で見比べる
- **2回目を何となく聞く。** 1回目で決めたら、2回目は確認だけにして、次の選択肢へ目を移す

1問4点。リスニングで配点が最も高い問題なので、ここを落とさないことが土台になる。

1B 第1問B：短い例

① The girl has just finished painting the fence.

絵：ⓐ 塗っている最中　ⓑ **塗り終えて、はけを置いている**　ⓒ これから塗り始める　ⓓ 塗らずに帰る

答え ⓑ　絵の違いは「いつ」。has just finished ＝終わったところ。

② Neither of the two boys is wearing a cap.

絵：ⓐ 2人とも帽子　ⓑ 左だけ帽子　ⓒ 右だけ帽子　ⓓ **2人とも帽子なし**

答え ⓓ　neither ＝どちらも～ない。both と聞き分ける。

③ The bakery is between the bank and the flower shop.

見る所　パン屋の両隣。next to だけなら片側、between なら両側が決まる。

第1問B：よくある失敗

- **絵を1枚ずつ眺める。** 見るのは4枚の「違い」だけ。違いを2つ、日本語で言ってから聞く
- **名詞だけ聞く。** 絵には同じ物が描かれている。決め手は時（about to / just）・数（few / a few）・否定（not / neither）
- **few と a few を同じに聞く。** a がなければ「ほとんどない」
- **18秒を指示文に使う。** 指示文は聞かずに、問5の絵を見る

絵を分ける語　まだ・もう：is about to / has already / hasn't ～ yet　数と量：almost all / a few / few / none of / both　位置：in front of / behind / next to / between / across from / on top of　比べる：not as long as / the same size as　してもらう：had his hair cut / is being painted

2 第2問：短い例

場面　女性が、花屋で花束を注文しています。

M: How about roses for the bouquet?

W: They're lovely, but she prefers something yellow.

M: We have sunflowers and tulips in yellow.

W: Tulips, please. And could you add a ribbon?

Question: Which bouquet will the woman buy?

絵：ⓐ バラ　ⓑ ヒマワリ　ⓒ 黄色のチューリップ　ⓓ **黄色のチューリップとリボン**

答え ⓓ　but でバラに×、Tulips でヒマワリに×、ribbon で ⓒ に×。条件が出るたびに絵を消す。

第2問：よくある失敗

- **最初の案を選ぶ。**最初に出た案は、ほとんどの場合、正解にならない
- **問いが流れるまで待つ。**問いは「どれを買うか」「どこに置くか」「どこで会うか」のどれかと予想できる。待たずに絵を消していく
- **頭の中で覚える。**冊子の絵に直接×をつける。2回目で確かめられる
- **最後の一言を聞き逃す。**And ... / Oh, and ... で条件が1つ足される

注意する語　No / but / Actually / instead / change A to B / the one with ～ / without ～

3 第3問：短い例

場面　友人同士が、空港までの行き方について話しています。

問い　How will the woman get to the airport?

M: Shall I drive you to the airport tomorrow?

W: Thanks, but the airport bus stops right in front of my house.

M: Oh, that's convenient.

ⓐ By car　ⓑ By bus　ⓒ By train　ⓓ On foot

答え ⓑ　Thanks, but ＝断り。drive が聞こえても車ではない。問いの主語は woman。

第3問：よくある失敗

- **ここで崩れる。**音声が1回だけになる最初の大問。聞き逃したら3秒で決めて、次の問いへ
- **途中で答えを決める。**結論は最後の一言で変わる
- **男性と女性を取り違える。**問いの主語に丸
- **選択肢を丁寧に読み過ぎる。**先読みは場面と問いまで。選択肢は違う語だけ

誤答の9つの型と練習は、シート「大問3 直前チートシート」にまとめてある。

4A 第4問A前半：並べ替えの短い例

Yesterday I baked cookies for my friend. Before I started, I had gone to the supermarket to buy butter. After the cookies cooled, I put them in a box. Then I rode my bike to her house.

絵：ⓐ クッキーを焼く　ⓑ 店でバターを買う　ⓒ 箱に詰める　ⓓ 自転車で出かける

答え ⓑ → ⓐ → ⓒ → ⓓ　話した順は ⓐ → ⓑ。had gone（過去完了）と before が「それより前」の合図。まず聞こえた順に番号を書き、時の語が出たら入れ替える。

4A 第4問A後半：表の短い例

Regular bikes are 500 yen for the first hour and 200 yen for each extra hour. Electric bikes cost 300 yen more. If you return the bike after six p.m., there is a late fee of 400 yen.

普通・2時間 → 500 ＋ 200 ＝ **700円**

電動・1時間 → 500 ＋ 300 ＝ **800円**

普通・3時間・午後7時に返す → 500 ＋ 200 ＋ 200 ＋ 400 ＝ **1,300円**

基本の値（500・200）を表の横にすぐ書き、more / If の条件を後から足す。

第4問A・B：よくある失敗

- **無音になってから絵を見る。**A前半の無音は約12秒。指示文（約25秒）の間に見始める
- **話した順に並べる。**話す順と起きた順は、どこかでずれる。4つ全部合って得点
- **聞こえた数字を空所に入れる。**「ただし」の条件を足し引きする。同じ選択肢を2回使うこともある
- **B で、覚えてから書こうとする。**聞いた瞬間に ○・× を書く
- **B で、触れなかった条件を○にする。**「言わなかった」は「満たす」ではない
- **B の解答時間に考える。**約9秒しかない。表を見てすぐマーク

第4問A・B：注意する語

順番	before / after / had ＋過去分詞 / earlier / by the time / first / then / finally
条件	However / If / except / unless / more than / up to / per person
計算	extra / additional / off / half price / in total / each
B の言い換え	駅から5分以内 → a three-minute walk／雨でもできる → held indoors／午前中に終わる → finishes by noon

表の先読み：行は何か（人・品物・曜日）、列は何か（時間・料金）、単位は何か。B は数字の境目（以下・以内・未満）に下線。

4B 第4問B：短い例（条件 A 無料／B 1回10分以内／C インターネットなしで使える）

	説明（英語の学習アプリを薦める4人）	A	B	C
①	This one is free, and each lesson takes about five minutes. You need an internet connection, though.	○	○	×
②	Lessons are eight minutes long, and you can download them and study anywhere. It costs three dollars a month.	×	○	○
③	It doesn't cost anything. You can save lessons on your phone, and each one is under ten minutes.	○	○	○
④	It's free and works without the internet. Each lesson is fifteen to twenty minutes.	○	×	○

答え ③　条件は言い換えで出る：無料 → doesn't cost anything、インターネットなし → save lessons on your phone。① は最後の文（though で終わる文）で×。**×が1つ付いたら、その候補は捨てる。**

5 第5問：短い例（講義の一部とワークシート）

Today, let's compare school lunch in two countries. In Country A, nine out of ten schools serve lunch, and students eat together in their classrooms. In contrast, in Country B, only one in four schools has a lunch program, so most students bring food from home. The biggest problem there is cost: many towns cannot pay for kitchens.

	昼食を出す学校	生徒の昼食	課題
Country A	[1] %　→ **90**	教室で一緒に食べる	—
Country B	[2] %　→ **25**	[3]　→ **家から持って来る**	[4]　→ **費用**

nine out of ten ＝ 90%、one in four ＝ 25%。**聞こえた数字がそのまま答えとは限らない。**In contrast でワークシートの次の行へ移る。The biggest problem is … は内容一致の問いの答えになる。（Country A・B は例題用の架空の国）

第5問：注意する語

対比	In contrast / On the other hand / while / however
まとめ	The biggest problem is ... / What matters most is ...
数の言い換え	one in four（25%）／a third（約33%）／doubled（2倍）／per month / a year（単位）
増減	rise / increase / fall / drop / remain the same

第5問：よくある失敗

- **90秒を状況の文だけに使う。**4つに分けて、グラフの題まで見る
- **今どこか分からなくなる。**ワークシートを指で追う。講義は上から下へ進む
- **グラフだけで選ぶ。**最後の問いは、講義とグラフの両方に合うもの
- **問27〜31の解答時間（約51秒）に休む。**マークしたら、問32・33の選択肢へ

6A 第6問A：短い例

問い　What is Tom's main point?

Yuki: I think high school students should have part-time jobs. You learn how to work with others.

Tom: I see your point, but we already have homework and club activities. I'd rather wait until college.

ⓐ Part-time jobs never teach anything.　ⓑ Students are too busy to work now.　ⓒ Working with others is important.

答え ⓑ　ⓐ は never が言い過ぎ。ⓒ は Yuki の考え。メモは「Y＋協力」「T－忙しい」。

6B 第6問B：短い例

話題　学校の始まる時刻を遅くするべきか

Ann: We'd get more sleep. I'm for it.

Ben: But clubs would end later. I'm against it.

Cathy: I agree with Ann. I can't focus in first period.

Dan: I was worried about getting home late, but maybe you're right. Sleep matters more.

メモ：Ann ○／Ben ×／Cathy ○／Dan ×→○　**賛成は3人。**Dan を最初の発言で×のままにすると人数がずれる。Ann の理由（睡眠）に合う図表は、睡眠時間を示すもの。

第6問：よくある失敗

- **誰の考えを聞くのかを決めていない。**問いの人名に丸
- **認めた部分を考えと取り違える。**That's true, but ... の後ろが本当の考え
- **最初の発言で ○・× を決める。**B は「会話が終わった時点」の立場
- **声と名前が結びつかない。**初めに呼び合う名前を聞く
- **賛否で図表を選ぶ。**選ぶのは、その人の「理由」を表す図表

第6問：意見が変わる・まとまる合図

I see your point, but ...	分かるけれど（反対）
That's true, but ...	確かに。でも（反対）
Maybe you're right.	そうかもしれない（変わる）
I hadn't thought of that.	それは考えなかった（変わる）
You've convinced me.	納得した（変わる）
I still think ...	それでも（変わらない）

設問数・配点は2026年度本試験（大学入試センターの正解で確認）、秒数は同年度の音声を原田英語が測った値で、年度によって変わることがあります。手順と例は原田英語のオリジナルです。